

世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

1 世帯主の年齢階級別

(1) 世帯主が50歳未満の世帯では負債現在高が貯蓄現在高を上回る

二人以上の世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が726万円と最も少なく、60歳以上の各年齢階級では2000万円を超える貯蓄現在高となっている。

負債現在高をみると、40歳未満の世帯が1366万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高が少なくなっている。また、負債保有世帯の割合は40～49歳の世帯が63.7%と最も高く、40歳以上の世帯では年齢階級が高くなるに従って割合が低くなっている。

純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）をみると、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、60～69歳の世帯の純貯蓄額は2323万円と最も多くなっている。一方、50歳未満の世帯では、負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、負債超過となっている。

(図 - 1 - 1、表 - 1 - 1)

図 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高、負債保有世帯の割合
(二人以上の世帯) - 2021年 -

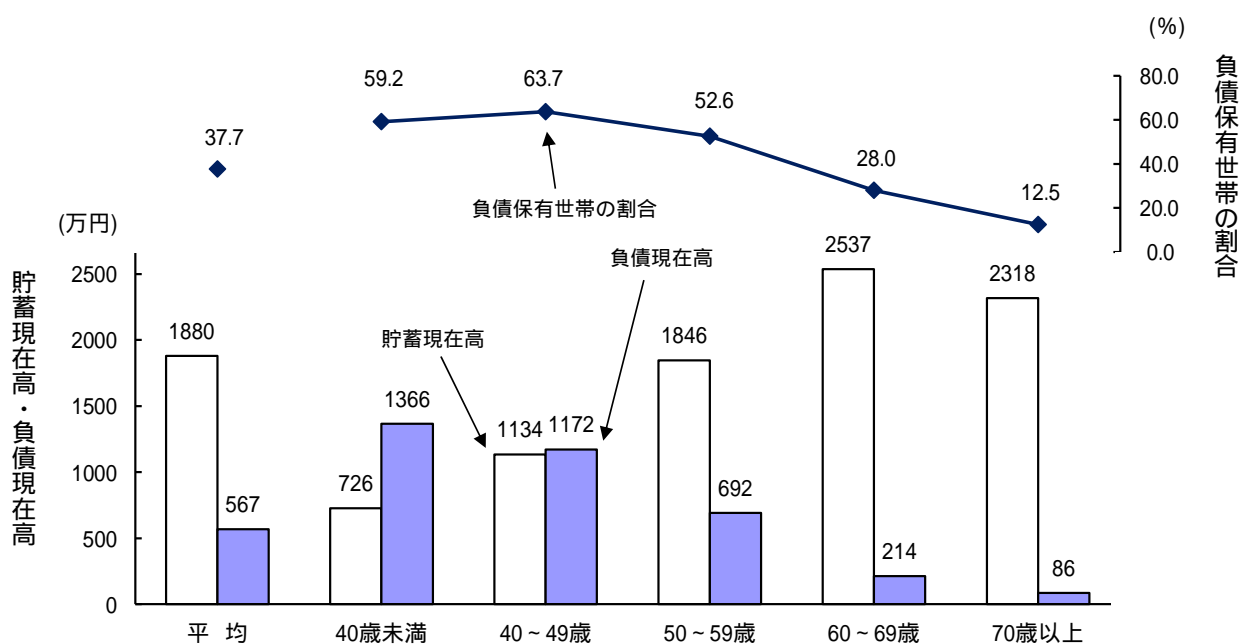


表 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
貯蓄現在高(万円)						
2016年	1820	574	1065	1802	2312	2446
2017	1812	602	1074	1699	2382	2385
2018	1752	600	1012	1778	2327	2249
2019	1755	691	1076	1704	2330	2253
2020	1791	708	1081	1703	2384	2259
2021	1880	726	1134	1846	2537	2318
対前年増減率(%)						
2017年	-0.4	4.9	0.8	-5.7	3.0	-2.5
2018	-3.3	-0.3	-5.8	4.6	-2.3	-5.7
2019	0.2	15.2	6.3	-4.2	0.1	0.2
2020	2.1	2.5	0.5	-0.1	2.3	0.3
2021	5.0	2.5	4.9	8.4	6.4	2.6
年間収入(万円)						
2021年	633	652	761	874	609	426
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)						
2021年	297.0	111.3	149.0	211.2	416.6	544.1
負債現在高(万円)						
2016年	507	1098	1047	591	220	90
2017	517	1123	1055	617	205	121
2018	558	1248	1105	683	207	104
2019	570	1341	1124	652	250	70
2020	572	1244	1231	699	242	86
2021	567	1366	1172	692	214	86
対前年増減率(%)						
2017年	2.0	2.3	0.8	4.4	-6.8	34.4
2018	7.9	11.1	4.7	10.7	1.0	-14.0
2019	2.2	7.5	1.7	-4.5	20.8	-32.7
2020	0.4	-7.2	9.5	7.2	-3.2	22.9
2021	-0.9	9.8	-4.8	-1.0	-11.6	0.0
住宅・土地のための負債(万円)						
2016年	452	1041	974	490	182	62
2017	463	1057	988	540	162	86
2018	501	1184	1031	588	163	75
2019	518	1283	1052	578	190	51
2020	518	1169	1152	620	192	66
2021	513	1292	1080	618	172	62
負債保有世帯の割合(%)						
2016年	37.3	57.7	62.8	52.9	27.1	11.2
2017	37.5	59.3	64.8	53.2	26.3	11.4
2018	39.0	61.5	65.4	53.5	26.8	12.5
2019	39.3	61.9	66.2	55.3	26.9	11.9
2020	38.5	58.2	66.6	56.5	27.6	12.5
2021	37.7	59.2	63.7	52.6	28.0	12.5
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円) ¹						
2016年	1313	-524	18	1211	2092	2356
2017	1295	-521	19	1082	2177	2264
2018	1194	-648	-93	1095	2120	2145
2019	1185	-650	-48	1052	2080	2183
2020	1219	-536	-150	1004	2142	2173
2021	1313	-640	-38	1154	2323	2232
世帯数分布(%) ²						
2021年	100.0	10.9	18.9	18.2	20.2	31.8

1 マイナスは、負債超過額を示す。

2 貯蓄・負債編は、貯蓄・負債不詳世帯を除いて集計している。このため、世帯数分布は家計収支編の世帯数分布とは必ずしも一致しない。

(2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が40歳未満の世帯

二人以上の世帯のうち負債保有世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が697万円と最も少なくなっているのに対し、60歳以上の世帯は1781万円と最も多くなっており、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高は多くなっている。

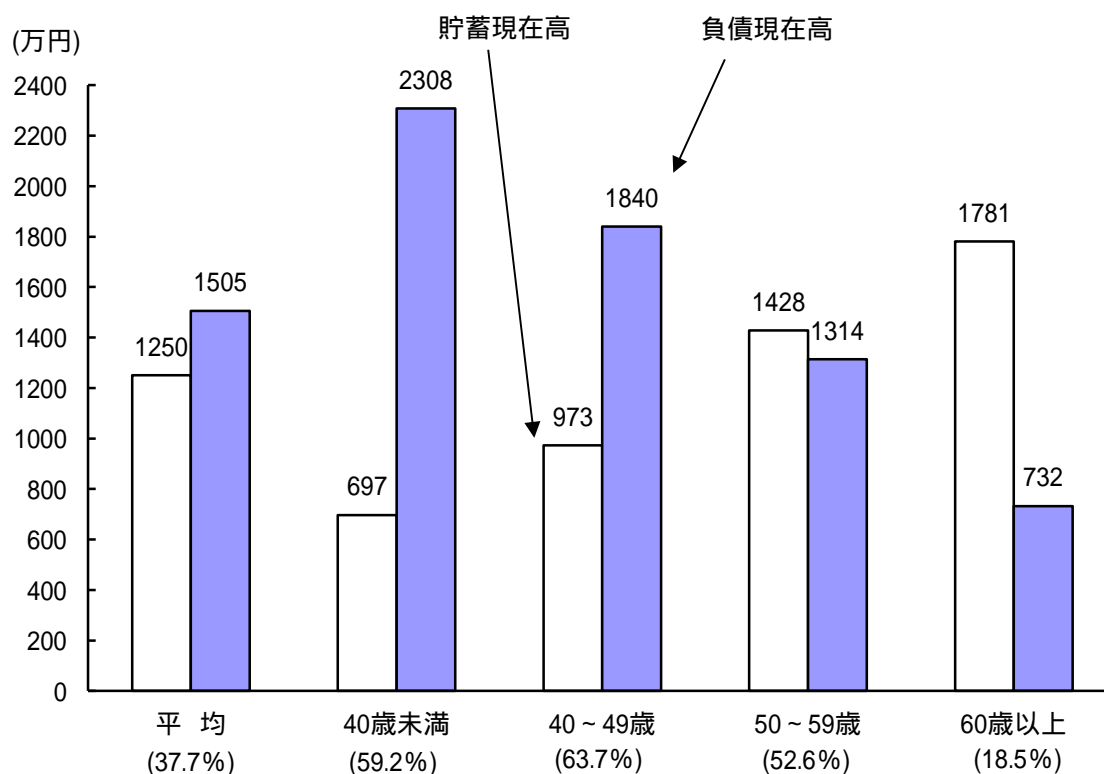
負債現在高をみると、40歳未満の世帯が2308万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高は少なくなっている。

純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、40歳未満の世帯の負債超過額が1611万円と最も多くなっている。一方、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、60歳以上の世帯の純貯蓄額は1049万円となっている。

40歳未満の世帯について貯蓄現在高をみると、前年に比べ19万円、2.8%の増加となっている。一方、負債現在高は前年に比べ166万円、7.7%の増加となり、負債現在高の約9割(94.6%)を占める住宅・土地のための負債は2183万円で、前年に比べ171万円、8.5%の増加となっている。

(図 - 1 - 2、表 - 1 - 2)

図 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高
(二人以上の世帯のうち負債保有世帯) - 2021年 -



注) ()内は、当該階級ごとの二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合

表 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移
(二人以上の世帯のうち負債保有世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
貯蓄現在高(万円)					
2016年	1111	543	912	1346	1551
2017	1142	533	924	1414	1628
2018	1119	585	880	1428	1530
2019	1100	670	951	1244	1510
2020	1203	678	952	1380	1725
2021	1250	697	973	1428	1781
対前年増減率(%)					
2017年	2.8	-1.8	1.3	5.1	5.0
2018	-2.0	9.8	-4.8	1.0	-6.0
2019	-1.7	14.5	8.1	-12.9	-1.3
2020	9.4	1.2	0.1	10.9	14.2
2021	3.9	2.8	2.2	3.5	3.2
年間収入(万円)					
2021年	762	679	797	918	617
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)					
2021年	164.0	102.7	122.1	155.6	288.7
負債現在高(万円)					
2016年	1357	1898	1669	1116	810
2017	1379	1893	1629	1159	885
2018	1430	2029	1689	1277	794
2019	1451	2167	1697	1178	801
2020	1486	2142	1850	1235	802
2021	1505	2308	1840	1314	732
対前年増減率(%)					
2017年	1.6	-0.3	-2.4	3.9	9.3
2018	3.7	7.2	3.7	10.2	-10.3
2019	1.5	6.8	0.5	-7.8	0.9
2020	2.4	-1.2	9.0	4.8	0.1
2021	1.3	7.7	-0.5	6.4	-8.7
住宅・土地のための負債(万円)					
2016年	1211	1800	1553	926	632
2017	1235	1783	1525	1015	666
2018	1283	1924	1576	1100	604
2019	1318	2073	1587	1045	601
2020	1346	2012	1731	1097	628
2021	1359	2183	1697	1174	567
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)					
2016年	-246	-1355	-757	230	741
2017	-237	-1360	-705	255	743
2018	-311	-1444	-809	151	736
2019	-351	-1497	-746	66	709
2020	-283	-1464	-898	145	923
2021	-255	-1611	-867	114	1049
世帯数分布(%)					
2021年	100.0	17.1	31.9	25.4	25.5

マイナスは、負債超過額を示す。

2 年間収入五分位階級別

(1) 負債現在高は年間収入が高くなるに従って多い

二人以上の世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第1階級(世帯主の平均年齢69.7歳)が1406万円、年間収入が最も高い第5階級(同53.2歳)が2868万円となっている。

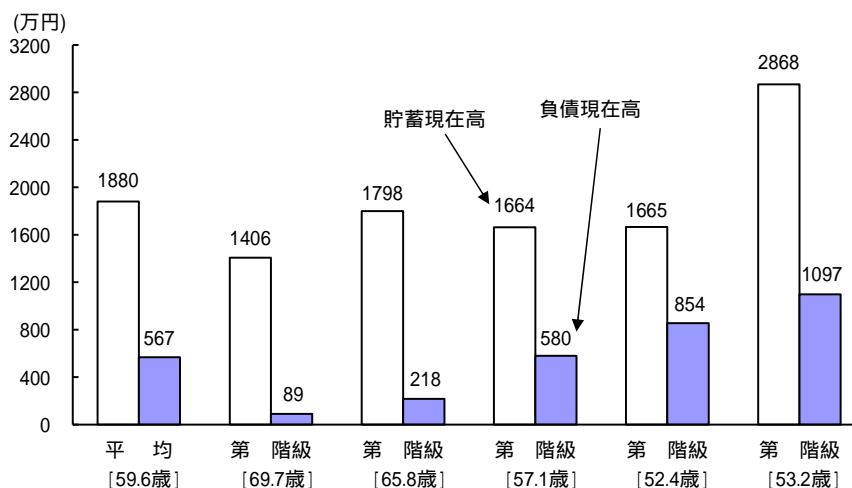
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、定期性預貯金は第1階級が42.0%と最も高く、第5階級が27.1%と最も低くなっている。有価証券は第1階級が18.5%と最も高く、第5階級が10.1%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第1階級が89万円、第5階級が1097万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 1、図 - 2 - 2、表 - 2 - 1)

年間収入五分位階級とは、年間収入の低い方から高い世帯へと順に並べて5等分したもので、低い方から第1階級、第2階級、第3階級、第4階級、第5階級(五分位)階級という。

図 - 2 - 1 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高(二人以上の世帯) - 2021年 -



注) []内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 2 年間収入五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比(二人以上の世帯) - 2021年 -

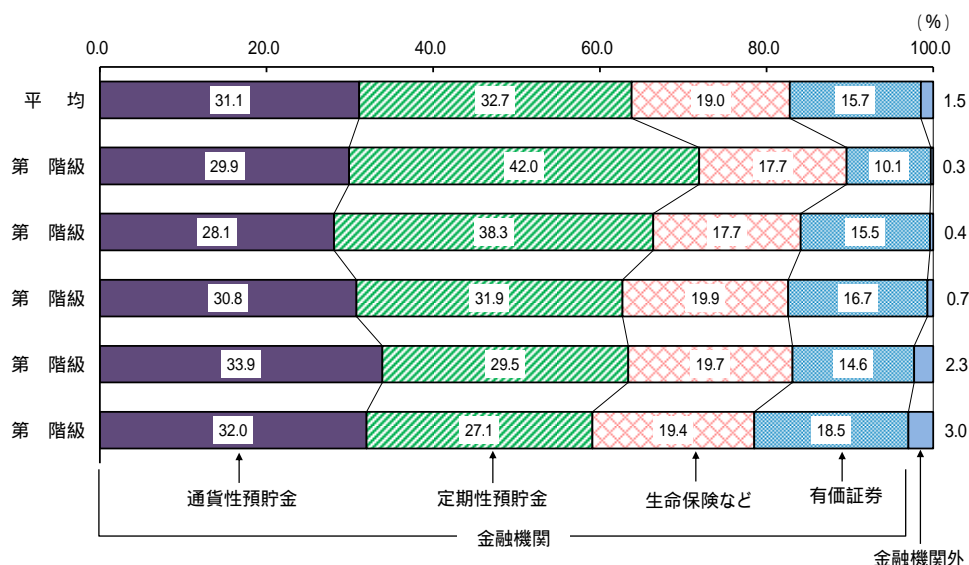


表 - 2 - 1 年間収入五分位階級、貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯) - 2021年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 331万円	331~ 457万円	457~ 623万円	623~ 872万円	872万円 ~
世帯人員(人)	2.94	2.41	2.61	3.02	3.26	3.38
世帯主の年齢(歳)	59.6	69.7	65.8	57.1	52.4	53.2
持家率(%)	84.1	81.7	85.2	82.7	83.6	87.3
年間収入		金 額(万円)				
	633	253	392	537	737	1245
貯蓄現在高		金 額(万円)				
金融機関	1880	1406	1798	1664	1665	2868
通貨性預貯金	1851	1402	1791	1652	1627	2783
定期性預貯金	584	421	505	513	565	918
生命保険など	615	590	688	531	491	777
有価証券	357	249	319	331	328	556
金融機関外	295	142	279	278	243	532
	29	4	7	11	38	85
貯蓄現在高		構 成 比(%)				
金融機関	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通貨性預貯金	98.5	99.7	99.6	99.3	97.7	97.0
定期性預貯金	31.1	29.9	28.1	30.8	33.9	32.0
生命保険など	32.7	42.0	38.3	31.9	29.5	27.1
有価証券	19.0	17.7	17.7	19.9	19.7	19.4
金融機関外	15.7	10.1	15.5	16.7	14.6	18.5
	1.5	0.3	0.4	0.7	2.3	3.0
負債現在高		金 額(万円)				
住宅・土地のための負債	567	89	218	580	854	1097
住宅・土地以外の負債	513	71	196	522	785	989
月賦・年賦	39	11	12	42	48	84
	16	6	10	16	22	24
負債現在高		構 成 比(%)				
住宅・土地のための負債	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
住宅・土地以外の負債	90.5	79.8	89.9	90.0	91.9	90.2
月賦・年賦	6.9	12.4	5.5	7.2	5.6	7.7
	2.8	6.7	4.6	2.8	2.6	2.2

(2) 勤労者世帯の貯蓄現在高は年間収入が高くなるに従って多い

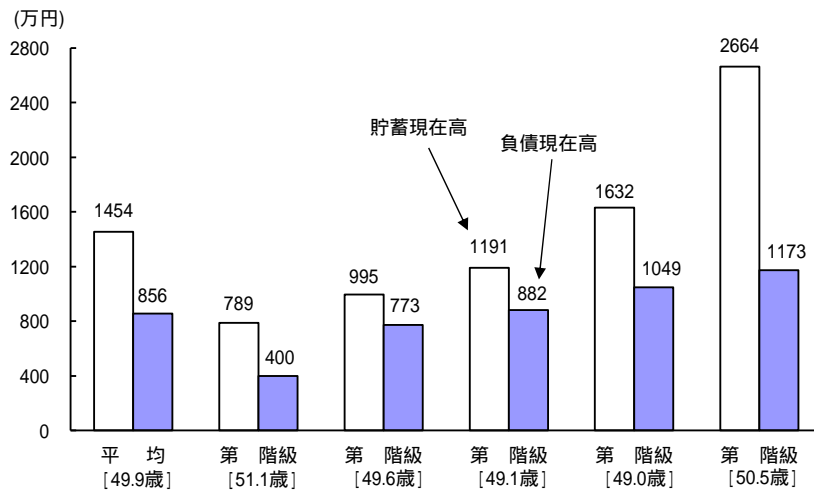
二人以上の世帯のうち勤労者世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第1階級(世帯主の平均年齢51.1歳)が789万円、年間収入が最も高い第5階級(50.5歳)が2664万円となっており、年間収入が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっている。

貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、定期性預貯金は第1階級が33.5%と最も高く、第5階級が24.9%と最も低くなっている。有価証券は第1階級が17.7%と最も高く、第5階級が8.9%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第1階級が400万円、第5階級が1173万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 3、図 - 2 - 4、表 - 2 - 2)

図 - 2 - 3 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2021年 -



注) []内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 4 年間収入五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2021年 -

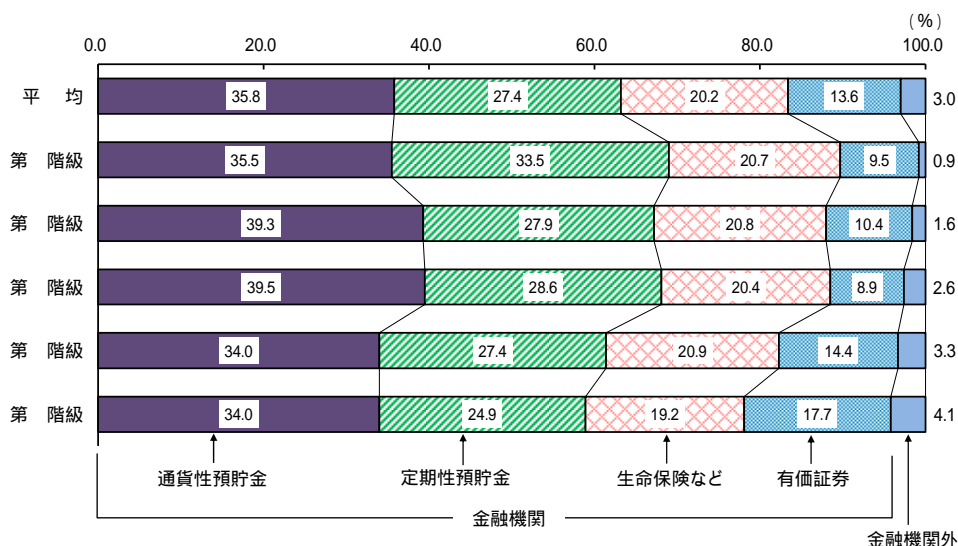


表 - 2 - 2 年間収入五分位階級、貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2021年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級		
		~ 463万円	463~ 606万円	606~ 759万円	759~ 982万円	982万円 ~		
世帯人員(人)	3.28	2.98	3.27	3.29	3.44	3.41		
世帯主の年齢(歳)	49.9	51.1	49.6	49.1	49.0	50.5		
持家率(%)	78.7	67.5	76.8	79.7	83.4	86.0		
年間収入	749	354	金額(万円)		538	680	860	1311
貯蓄現在高	1454	789	金額(万円)		995	1191	1632	2664
金融機関	1411	782	金額(万円)		979	1160	1578	2555
通貨性預貯金	521	280	金額(万円)		391	470	555	907
定期性預貯金	399	264	金額(万円)		278	341	447	664
生命保険など	293	163	金額(万円)		207	243	341	511
有価証券	198	75	金額(万円)		103	106	235	472
金融機関外	44	7	金額(万円)		16	31	54	110
貯蓄現在高	100.0	100.0	構成比(%)		100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	97.0	99.1	構成比(%)		98.4	97.4	96.7	95.9
通貨性預貯金	35.8	35.5	構成比(%)		39.3	39.5	34.0	34.0
定期性預貯金	27.4	33.5	構成比(%)		27.9	28.6	27.4	24.9
生命保険など	20.2	20.7	構成比(%)		20.8	20.4	20.9	19.2
有価証券	13.6	9.5	構成比(%)		10.4	8.9	14.4	17.7
金融機関外	3.0	0.9	構成比(%)		1.6	2.6	3.3	4.1
負債現在高	856	400	金額(万円)		773	882	1049	1173
住宅・土地のための負債	791	363	金額(万円)		724	812	963	1092
住宅・土地以外の負債	43	20	金額(万円)		30	48	60	56
月賦・年賦	22	17	金額(万円)		19	22	26	26
負債現在高	100.0	100.0	構成比(%)		100.0	100.0	100.0	100.0
住宅・土地のための負債	92.4	90.8	構成比(%)		93.7	92.1	91.8	93.1
住宅・土地以外の負債	5.0	5.0	構成比(%)		3.9	5.4	5.7	4.8
月賦・年賦	2.6	4.3	構成比(%)		2.5	2.5	2.5	2.2

3 貯蓄現在高五分位階級別

貯蓄現在高が最も多い第 階級の世帯の有価証券の割合は約 2 割

二人以上の世帯について貯蓄現在高五分位階級別 に貯蓄・負債現在高をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って、負債現在高は少なくなる傾向にある。貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少ない階級では、通貨性預貯金の割合が高くなっている。一方、貯蓄現在高が多い階級では、定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなっている。貯蓄現在高が最も多い第 階級についてみると、有価証券の割合は約 2 割(20.6%)となっている。

(図 - 3 - 1、図 - 3 - 2、表 - 3 - 1)

貯蓄現在高五分位階級とは、貯蓄現在高の低い方から高い世帯へと順に並べて 5 等分したもので、低い方から第 1 階級、第 2 階級、第 3 階級、第 4 階級、第 5 階級 (五分位) 階級という。

図 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯) - 2021年 -

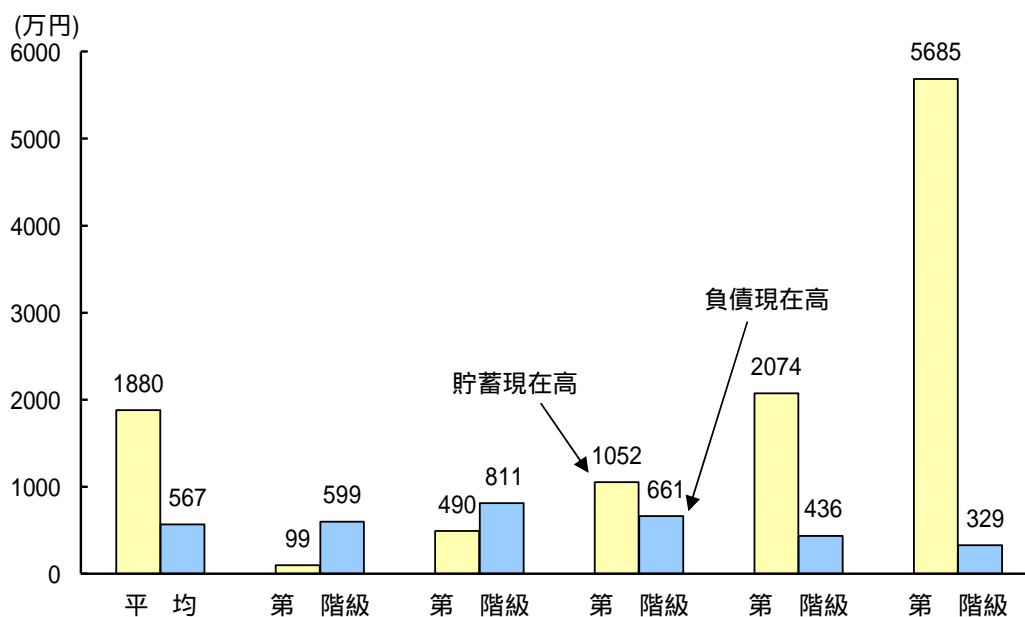


図 - 3 - 2 貯蓄現在高五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯) - 2021年 -

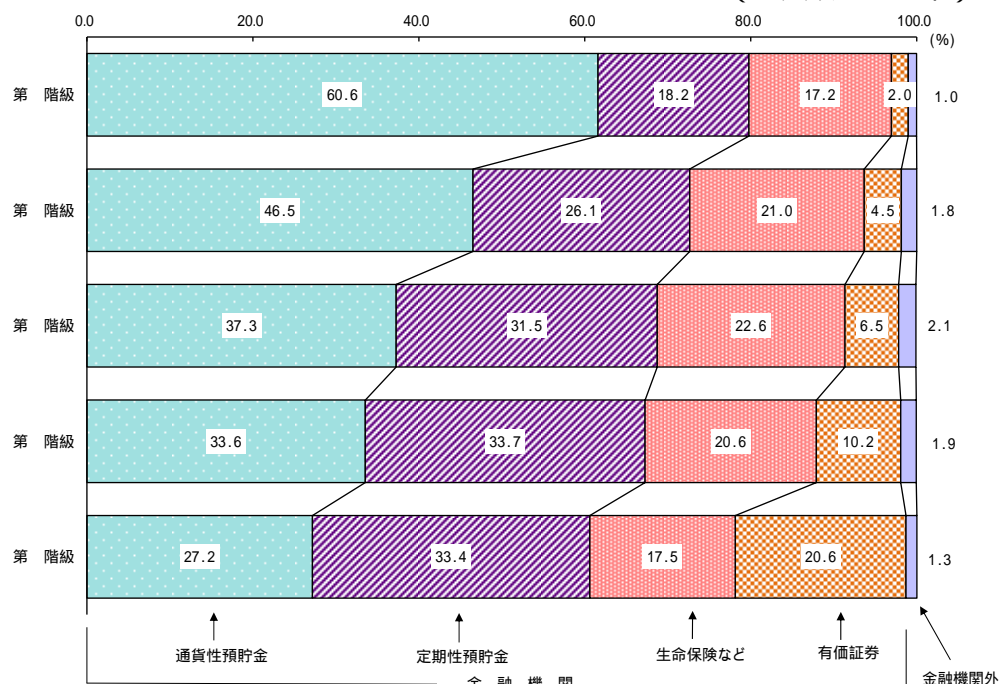


表 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯） - 2021年 -

項目	平均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 280万円	280 ~ 726万円	726 ~ 1447万円	1447 ~ 2924万円	2924万円 ~
金 額 (万円)						
貯蓄現在高	1880	99	490	1052	2074	5685
金融機関	1851	98	481	1030	2035	5612
通貨性預貯金	584	60	228	392	696	1545
定期性預貯金	615	18	128	331	699	1900
生命保険など	357	17	103	238	428	997
有価証券	295	2	22	68	211	1170
金融機関外	29	1	9	22	39	74
(参考)年間収入	633	496	599	627	658	784
構 成 比 (%)						
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	98.5	99.0	98.2	97.9	98.1	98.7
通貨性預貯金	31.1	60.6	46.5	37.3	33.6	27.2
定期性預貯金	32.7	18.2	26.1	31.5	33.7	33.4
生命保険など	19.0	17.2	21.0	22.6	20.6	17.5
有価証券	15.7	2.0	4.5	6.5	10.2	20.6
金融機関外	1.5	1.0	1.8	2.1	1.9	1.3
構成比の対前年変化幅(ポイント)						
貯蓄現在高						
金融機関	0.2	1.0	0.1	0.1	0.4	0.1
通貨性預貯金	0.1	3.7	2.3	-0.1	1.6	-0.6
定期性預貯金	-1.2	-2.4	-1.5	0.5	-1.4	-1.4
生命保険など	-0.9	-0.4	-1.3	-0.7	-1.5	-0.8
有価証券	2.3	-0.9	0.5	0.5	1.7	2.9
金融機関外	-0.2	-1.0	-0.1	-0.1	-0.4	-0.1

4 持家世帯（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

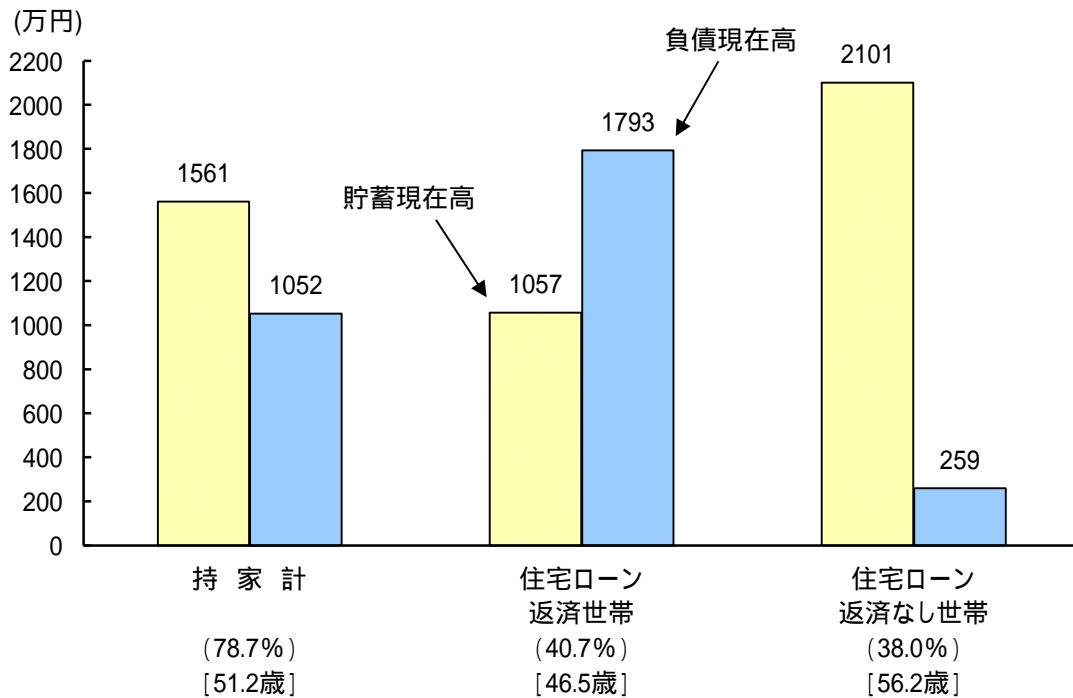
持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1793万円

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯（勤労者世帯に占める割合78.7%、世帯主の平均年齢51.2歳）について、住宅ローンの有無別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、住宅ローン返済世帯（同40.7%、同46.5歳）は、1057万円となっており、前年に比べ40万円、3.9%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯（同38.0%、同56.2歳）は、2101万円となっており、前年に比べ154万円、7.9%の増加となっている。

同様に、負債現在高をみると、住宅ローン返済世帯は、1793万円となっており、前年に比べ30万円、1.7%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯は、259万円となっており、前年に比べ21万円、7.5%の減少となっている。

（図 - 4 - 1、表 - 4 - 1）

図 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高
（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） - 2021年 -



注) 1 ()内は、勤労者世帯に占める割合
2 []内は、世帯主の平均年齢

表 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高の推移

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

年次	金額(万円)			対前年増減率(%)		
	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯
	貯蓄現在高					
2016年	1424	906	1993	-1.2	-2.1	1.6
2017	1447	956	1962	1.6	5.5	-1.6
2018	1437	918	2021	-0.7	-4.0	3.0
2019	1474	969	2035	2.6	5.6	0.7
2020	1473	1017	1947	-0.1	5.0	-4.3
2021	1561	1057	2101	6.0	3.9	7.9
	負債現在高					
2016年	981	1649	247	2.3	-1.3	1.6
2017	978	1690	231	-0.3	2.5	-6.5
2018	1016	1695	252	3.9	0.3	9.1
2019	1047	1724	294	3.1	1.7	16.7
2020	1036	1763	280	-1.1	2.3	-4.8
2021	1052	1793	259	1.5	1.7	-7.5
	住宅・土地のための負債					
2016年	909	1557	197	1.2	-1.8	-4.8
2017	919	1605	200	1.1	3.1	1.5
2018	950	1609	208	3.4	0.2	4.0
2019	984	1642	252	3.6	2.1	21.2
2020	971	1677	237	-1.3	2.1	-6.0
2021	985	1701	218	1.4	1.4	-8.0
	世帯主の年齢(歳)					
2021年	51.2	46.5	56.2	-	-	-

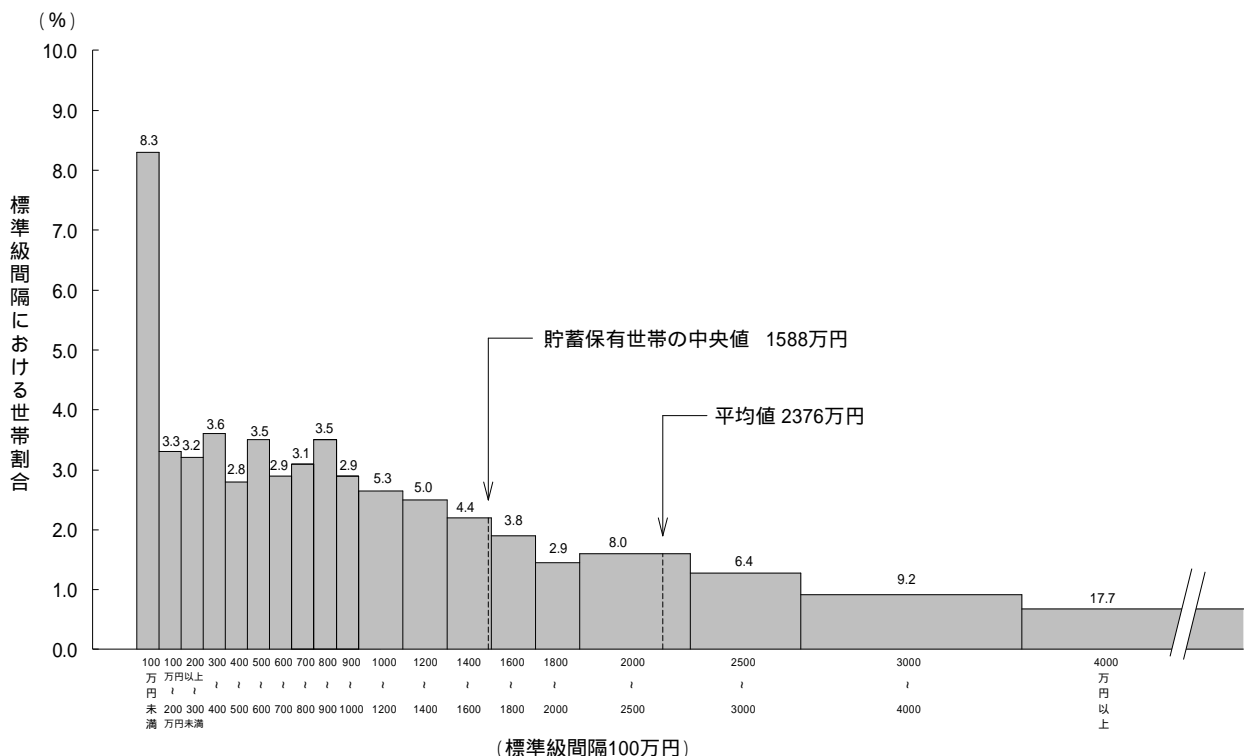
5 世帯主が65歳以上の世帯

(1) 世帯主が65歳以上の世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める

二人以上の世帯のうち世帯主が65歳以上の世帯（二人以上の世帯に占める割合42.7%）について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、二人以上の世帯全体と比べて、世帯主が65歳以上の世帯では、貯蓄現在高が高い階級にも広がった分布となっている。そのうち2500万円以上の世帯は、全体の33.3%と約3分の1を占めている。一方で、300万円未満の世帯は、全体の14.8%を占めている。

(図 - 1 - 3、図 - 5 - 1、表 - 5 - 1)

図 - 5 - 1 世帯主が65歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯） - 2021年 -



注) 標準級間隔100万円（貯蓄現在高1000万円未満）の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、貯蓄現在高1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いいため、縦軸目盛りとは一致しない。貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄「0」世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

表 - 5 - 1 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯） - 2021年 -

世帯分布	平均	割合 (%)		
		300万円未満	300万円以上～2500万円未満	2500万円以上
二人以上の世帯	100.0	20.6	55.1	24.3
うち世帯主が65歳以上の世帯	100.0	14.8	51.9	33.3
うち世帯主が65歳未満の世帯	100.0	24.9	57.5	17.6

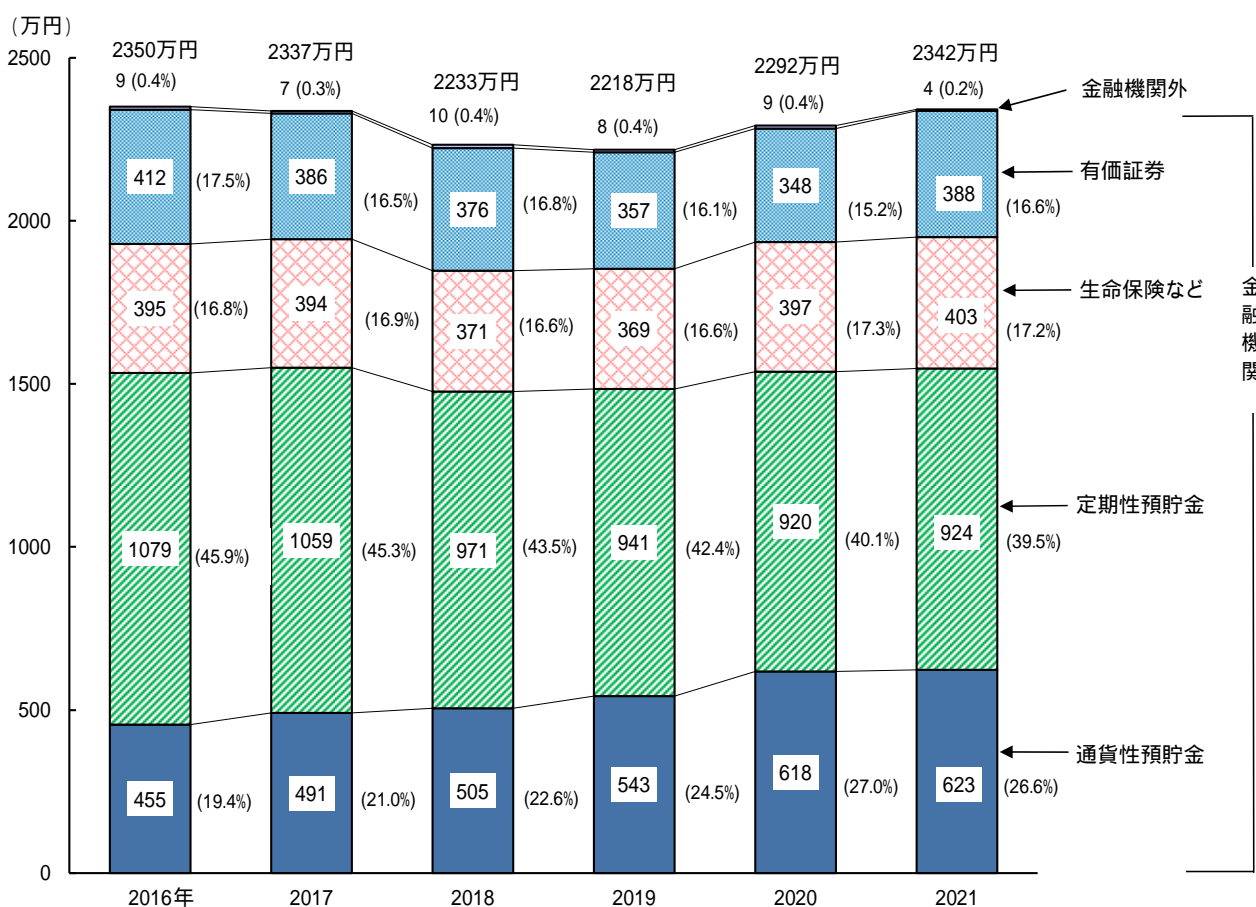
(2) 世帯主が65歳以上の無職世帯の有価証券は388万円で前年に比べ11.5%の増加

二人以上の世帯のうち世帯主が65歳以上の無職世帯（二人以上の世帯に占める割合31.9%）の1世帯当たり貯蓄現在高は、2342万円で、前年に比べ50万円、2.2%の増加となり、2年連続の増加となっている。

貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が924万円と最も多く、次いで通貨性預貯金が623万円、「生命保険など」が403万円、有価証券が388万円、金融機関外が4万円となっている。また、前年と比べると、有価証券が40万円、11.5%の増加、「生命保険など」が6万円、1.5%の増加などとなっている。

(図 - 5 - 2、表 - 5 - 2)

図 - 5 - 2 世帯主が65歳以上の無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）



注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

表 - 5 - 2 世帯主が65歳以上の無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	貯蓄現在高	金融機関					金融機関外
		通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券		
金額(万円)							
2016年	2350	2341	455	1079	395	412	9
2017	2337	2330	491	1059	394	386	7
2018	2233	2224	505	971	371	376	10
2019	2218	2210	543	941	369	357	8
2020	2292	2284	618	920	397	348	9
2021	2342	2338	623	924	403	388	4
構成比(%)							
2016年	100.0	99.6	19.4	45.9	16.8	17.5	0.4
2017	100.0	99.7	21.0	45.3	16.9	16.5	0.3
2018	100.0	99.6	22.6	43.5	16.6	16.8	0.4
2019	100.0	99.6	24.5	42.4	16.6	16.1	0.4
2020	100.0	99.7	27.0	40.1	17.3	15.2	0.4
2021	100.0	99.8	26.6	39.5	17.2	16.6	0.2
対前年増減率(%)							
2017年	-0.6	-0.5	7.9	-1.9	-0.3	-6.3	-22.2
2018	-4.5	-4.5	2.9	-8.3	-5.8	-2.6	42.9
2019	-0.7	-0.6	7.5	-3.1	-0.5	-5.1	-20.0
2020	3.3	3.3	13.8	-2.2	7.6	-2.5	12.5
2021	2.2	2.4	0.8	0.4	1.5	11.5	-55.6